



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,645	11.2	53	△63.6	60	△61.3	4	△96.4
25年12月期第2四半期	3,278	10.0	147	—	157	—	116	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △24百万円(—%) 25年12月期第2四半期 192百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	0.47	—
25年12月期第2四半期	13.44	11.40

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	3,360	1,691	50.0
25年12月期	3,196	1,751	54.7

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,680百万円 25年12月期 1,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	8.7	100	△59.4	100	△62.3	30	△72.9	3.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	8,874,400株	25年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	80,500株	25年12月期	85,700株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	8,789,836株	25年12月期2Q	8,698,570株

(注) 当社は平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第2四半期連結累計期間の概況>

当社グループが属するIT産業は、クラウドコンピューティング^{(*)1}（以下、「クラウド」）やスマートフォン、タブレット端末の普及、また、通信技術の進化によるモバイルインターネット環境の高速化大容量化により、今までに存在しなかった革新的なビジネスが数多く生まれており、急速に変化しています。

このような状況のもと、当社グループは、当期を新たな成長戦略の起点の年と位置付け、「新規分野の拡大」「製品力強化のための研究開発」「競争力強化に向けた人材投資」に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間における売上高は3,645百万円と前年同期比で11.2%増と二桁の増収となりました。利益面におきましては、営業・マーケティングの強化や自社製品開発のための先行投資、積極的に人員採用を進めたこと等により販売費及び一般管理費は1,371百万円（前年同期比20.0%増）となり、営業利益は53百万円（同63.6%減）、経常利益は60百万円（同61.3%減）、四半期純利益は法人税等の計上により4百万円（同96.4%減）となりました。当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は86百万円（同52.4%減）となりました。

当第2四半期における成長戦略投資の成果として、「LifeKeeper」^{(*)2}の新バージョンをリリース、クラウド対応を強化しました。また、新たなOSS^{(*)3}関連商品として、ゲームやSNS等の大規模なWebサイトでの利用が拡大している米国Nginx, Inc.のWebサーバソフトウェア「NGINX Plus」^{(*)4}の販売を開始しました。新規事業であるビッグデータソリューション^{(*)5}においては、ビッグデータの収集サービス「SIOS Data Collector」、及びビッグデータの加工・出力サービス「SIOS Data Mart」の販売を発表しました。更に、米国子会社であるSIOS Technology Corp.及びGlabio, Inc.でも新製品の開発を継続中です。

第3四半期以降も、引き続き継続的成長実現のためこれらの投資を続けてまいります。

各セグメントの業績は、次の通りの結果となりました。

(オープンシステム基盤事業)

「Red Hat Enterprise Linux」^{(*)6}は営業・マーケティングの強化により販売は堅調に推移しました。また、自社製品の「LifeKeeper」は前期に比べ大規模案件の減少等により横ばいとなりました。OSSのサポートサービス、OSS関連商品の販売は順調に推移しました。これらにより、売上高は2,452百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

一方、利益面では、「Red Hat Enterprise Linux」の競争激化による利益率の低下、新製品の開発、並びに技術及び営業社員の採用を積極的に行った結果、セグメント損失は20百万円（前年同期はセグメント利益158百万円）となりました。

(Webアプリケーション事業)

MFP向けソフトウェア製品^{(*)7}の売上が大幅に伸長し、売上増に貢献しました。Google AppsTMの機能拡張サービス「Gluegentシリーズ」^{(*)8}をはじめとするクラウド分野の製品・サービスの売上は、順調に推移しました。また、新たな事業分野であるビッグデータソリューションの売上は想定を上回りました。これらにより、売上高は1,193百万円（前年同期比25.7%増）となりました。

一方、利益面では、新サービスのための研究開発や人員採用を積極的に行ったことで販売費及び一般管理費が増加しましたが、売上の伸長による売上総利益の増加がこれらを吸収し、セグメント利益は74百万円（前年同期はセグメント損失11百万円）と黒字化しました。

(*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由でサービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(*2) LifeKeeper

米国子会社SIOS Technology Corp. の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(*3) OSS（オープンソースソフトウェアの略）

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(*4) NGINX Plus

米国のNginx, Inc. の開発製品。OSSのWebサーバーソフト「Nginx」を基に、アプリケーションロードバランシングや高度なキャッシュコントロール等、各種機能を追加した商用製品。

(*5) ビッグデータソリューション

大規模データを従来より低コストかつ短時間で解析・分析等できるソフトウェアを利用したクラウドサービス。

(*6) Red Hat Enterprise Linux

オープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc. が開発するLinux OS。

(*7) MFP向けソフトウェア製品

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

(*8) Gluegentシリーズ

子会社グルージェントのサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Flow」をはじめ、Google Calenderにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加248百万円、売掛金の減少103百万円等の要因により、3,008百万円（前連結会計年度末比4.8%増）となりました。

固定資産は、投資有価証券の増加20百万円等の要因により、352百万円（同7.7%増）となりました。

この結果、総資産は、3,360百万円（同5.1%増）となりました。

②負債

流動負債は、前受金の増加110百万円、未払法人税等の増加66百万円等の要因により、1,541百万円（前連結会計年度末比16.3%増）となりました。

固定負債は、127百万円（同7.5%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,669百万円（同15.5%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、配当金の支払い43百万円、為替換算調整勘定の減少28百万円等の要因により、1,691百万円（前連結会計年度末比3.5%減）となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ248百万円増加し1,981百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益60百万円、減価償却費31百万円、売上債権の減少額96百万円、前受金の増加額122百万円、未払金の増加額21百万円、法人税等の還付額42百万円等の要因により、営業活動により得られた資金は380百万円(前年同四半期は207百万円の獲得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出20百万円、無形固定資産の取得による支出12百万円、投資有価証券の取得による支出20百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は53百万円(前年同四半期は165百万円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額43百万円、新株予約権の発行による収入3百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は42百万円(前年同四半期は17百万円の使用)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、概ね平成26年1月31日に公表した当初の業績予想通りに推移していることから、現時点で修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,011	1,981,236
受取手形及び売掛金	841,917	738,710
仕掛品	23,556	16,708
繰延税金資産	26,283	32,862
前渡金	130,810	167,061
その他	114,759	72,112
貸倒引当金	△513	△223
流動資産合計	2,869,824	3,008,467
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	72,020	67,488
その他（純額）	45,481	51,197
有形固定資産合計	117,501	118,685
無形固定資産		
のれん	10,253	8,614
その他	31,122	38,934
無形固定資産合計	41,376	47,548
投資その他の資産		
投資有価証券	-	20,690
差入保証金	165,940	163,337
その他	2,209	1,833
投資その他の資産合計	168,150	185,860
固定資産合計	327,028	352,095
資産合計	3,196,852	3,360,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,338	232,147
1年内返済予定の長期借入金	5,508	4,308
未払法人税等	1,699	68,090
前受金	883,015	993,813
引当金	6,900	104
その他	192,763	243,358
流動負債合計	1,326,225	1,541,822
固定負債		
長期借入金	6,148	4,594
退職給付引当金	112,531	113,053
その他	-	9,896
固定負債合計	118,679	127,543
負債合計	1,444,904	1,669,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	476,557	476,233
利益剰余金	30,997	△8,771
自己株式	△20,582	△19,333
株主資本合計	1,968,492	1,929,648
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△220,802	△249,110
その他の包括利益累計額合計	△220,802	△249,110
新株予約権	2,502	9,041
少数株主持分	1,755	1,618
純資産合計	1,751,948	1,691,197
負債純資産合計	3,196,852	3,360,563

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,278,216	3,645,265
売上原価	1,987,690	2,219,707
売上総利益	1,290,526	1,425,557
販売費及び一般管理費	1,143,118	1,371,963
営業利益	147,408	53,594
営業外収益		
受取利息	890	983
為替差益	10,299	4,024
その他	606	2,510
営業外収益合計	11,795	7,518
営業外費用		
支払利息	241	142
リース解約損	1,493	-
その他	68	3
営業外費用合計	1,803	145
経常利益	157,400	60,967
特別利益		
新株予約権戻入益	39	-
関係会社株式売却益	4,160	-
特別利益合計	4,200	-
特別損失		
固定資産除却損	294	-
特別損失合計	294	-
税金等調整前四半期純利益	161,306	60,967
法人税、住民税及び事業税	33,065	64,205
法人税等調整額	10,983	△7,275
法人税等合計	44,049	56,930
少数株主損益調整前四半期純利益	117,256	4,037
少数株主利益又は少数株主損失(△)	336	△137
四半期純利益	116,919	4,174

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	117,256	4,037
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	74,857	△28,308
その他の包括利益合計	74,857	△28,308
四半期包括利益	192,114	△24,271
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,777	△24,133
少数株主に係る四半期包括利益	336	△137

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	161,306	60,967
減価償却費	27,801	31,137
権利金償却費	63	63
のれん償却額	6,319	1,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,024	△290
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	△6,796
受取利息及び受取配当金	△890	△1,139
支払利息	241	142
関係会社株式売却損益(△は益)	△4,160	-
固定資産除却損	294	-
新株予約権戻入益	△39	-
売上債権の増減額(△は増加)	13,638	96,447
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,782	6,847
仕入債務の増減額(△は減少)	17,194	△2,897
退職給付引当金の増減額(△は減少)	438	522
前受金の増減額(△は減少)	81,384	122,382
前渡金の増減額(△は増加)	10,019	△36,250
未払金の増減額(△は減少)	-	21,589
未収入金の増減額(△は増加)	-	13,805
未払消費税等の増減額(△は減少)	9,114	13,079
その他	△21,120	17,313
小計	314,364	338,572
利息及び配当金の受取額	890	1,124
利息の支払額	△249	△144
法人税等の還付額	2,651	42,993
法人税等の支払額	△110,354	△1,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,303	380,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,096	△20,796
無形固定資産の取得による支出	-	△12,732
投資有価証券の取得による支出	-	△20,690
差入保証金の差入による支出	△161,173	△203
差入保証金の回収による収入	297	-
関係会社株式の売却による収入	9,160	-
その他	-	886
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,812	△53,536

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△25,442	△43,041
長期借入金の返済による支出	△2,754	△2,754
リース債務の返済による支出	△3,195	△570
ストックオプションの行使による収入	13,493	204
新株予約権の発行による収入	-	3,890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,899	△42,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	97,950	△36,601
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	121,541	248,224
現金及び現金同等物の期首残高	1,586,154	1,733,011
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,707,696	1,981,236

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステ ム基盤事業	Webアプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,328,743	949,473	3,278,216	—	3,278,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,328,743	949,473	3,278,216	—	3,278,216
セグメント利益又は損失 (△)	158,876	△11,467	147,408	—	147,408

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,087,476	98,616	50,470	41,652	3,278,216

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,452,229	1,193,035	3,645,265	—	3,645,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	279	708	987	△987	—
計	2,452,508	1,193,744	3,646,253	△987	3,645,265
セグメント利益又は損失 (△)	△20,452	74,047	53,594	—	53,594

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

売上高

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,439,000	116,597	47,999	41,668	3,645,265

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。